

## ACP マニュアル研修会アンケート結果

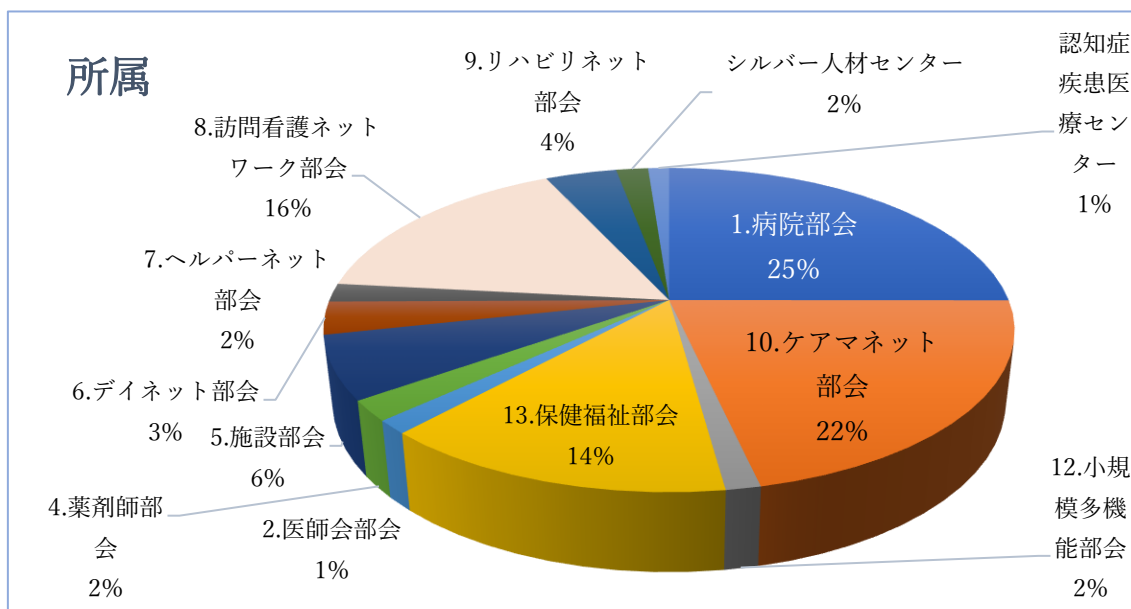
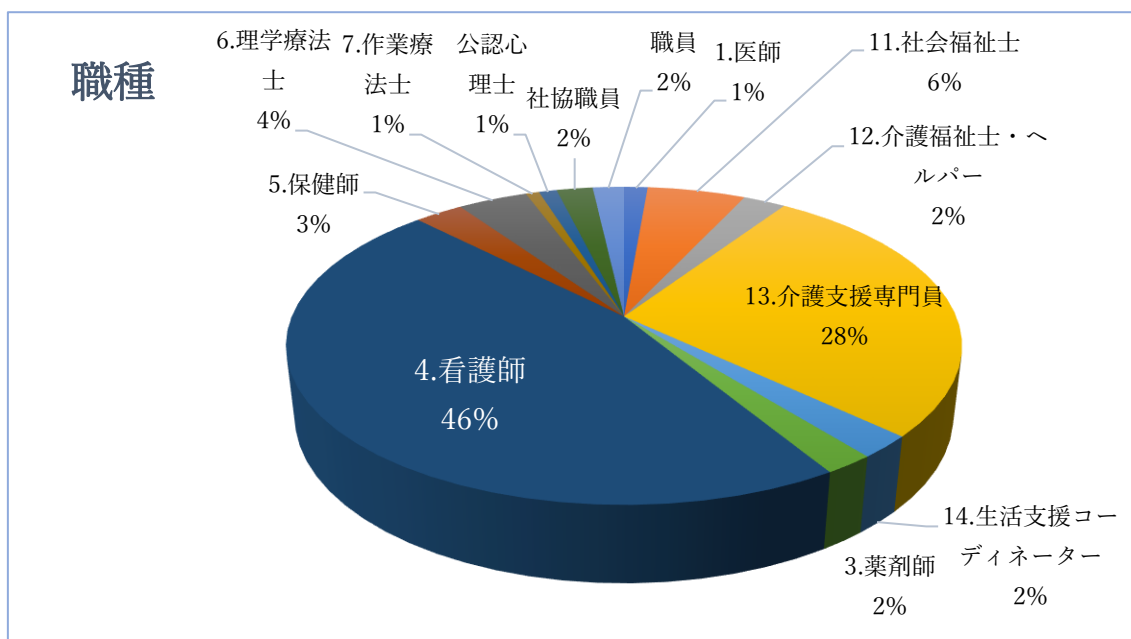
日時：令和 4 年 2 月 16 日（水）午後 6 時 30 分～午後 8 時（ZOOM 使用）

テーマ：専門職のための ACP マニュアル、市民向けわたしノートの説明及び使用方法

主催：高齢福祉課、ACP 作業部会

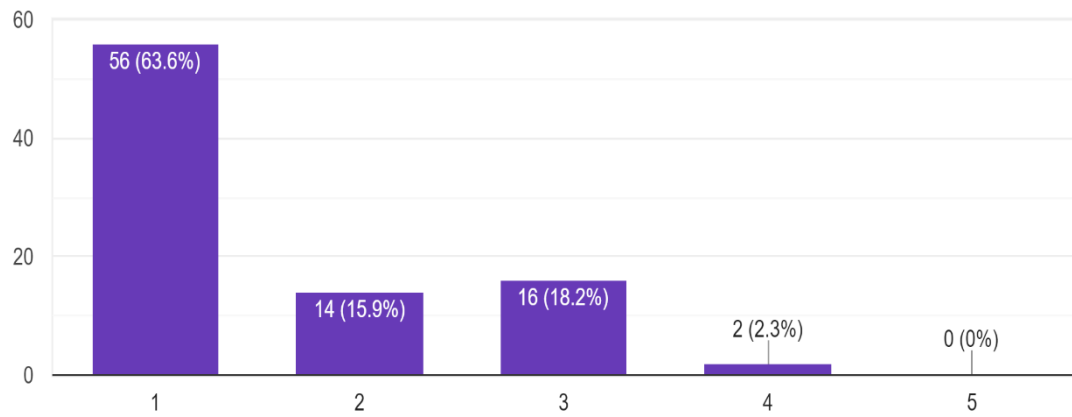
参加者：128 名

回答者：88 名 回答率：68.8%



### 3.研修の分かりやすさについてお答えください。

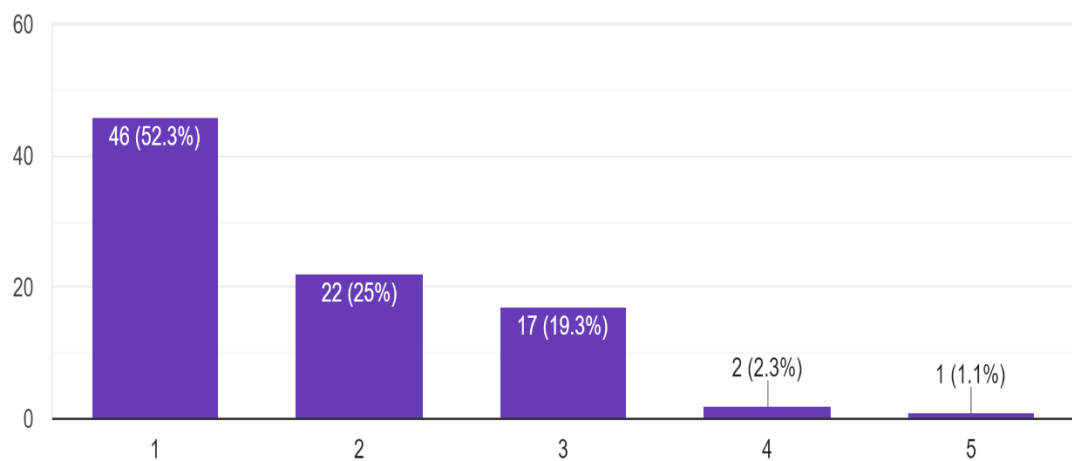
88 件の回答



1.わかる～5.全く分からない

### 4.研修の満足度についてお答えください

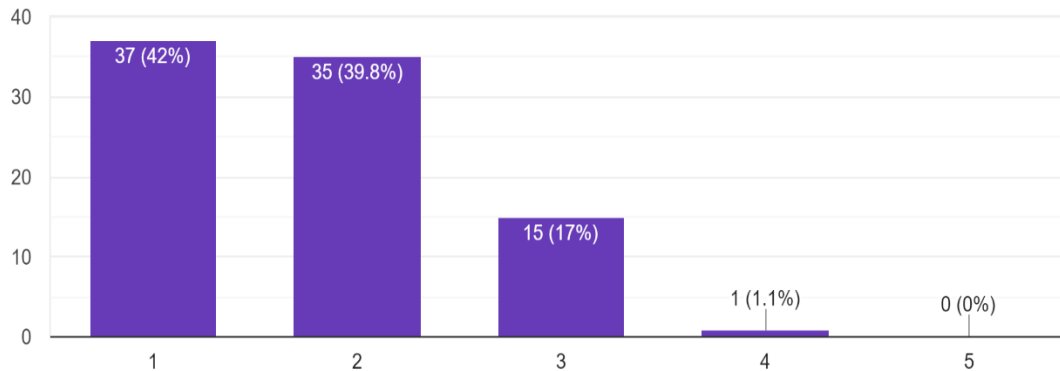
88 件の回答



1.満足～5.不満

5.今後の活用についてお答えください

88 件の回答



1.できる～5.全くできない

6. 5.について回答した内容を具体的にお書きください。

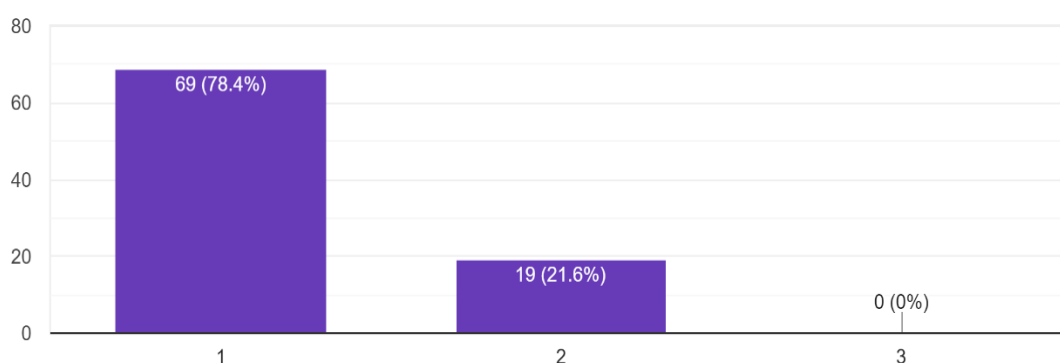
57 件の回答(抜粋)

- ACP の考え方
- わたしノートを活用できるように頑張りたいと思います
- 全体像はおおむね理解できたが、実際使用してみないとわからない。
- 専門職として意思決定支援に参加して責任を持つ意識で臨む、より能動的に関わる。
- コミュニケーションスキルを意識して活用したい
- 反復・沈黙などのスキルを活用して、とにかく相手の思いを心で聞く
- 4つのステップ、わかりやすかったです
- ご本人の言葉をその都度記録しておく。
- 相手や周りの支援者があってのことで独りよがりにならないか気がかり、モヤモヤ感が残しやすい、何度学んでも難しいと思う
- 利用者さんとの会話の中で、おもくならないように思いをきいていけたら、と思う。
- 最終的には医師から病状の説明をしっかりともらわないと進まないことが多い。
- わたしノートを市民向けに啓発する際に活用出来る
- エンディングノートという、死へと向かう準備というイメージがありました。しかし、わたしノートは、過去を振り返る事、イキイキしていた頃を知って欲しいと思わせる内容なので、相手を知る手段としてもよいと思いました。
- 特養でどのように活かして行けるかまだ模索中です
- 本人の意思を様々な場面からくみ取っていきたい。
- 意思形成について、何気ない会話から価値観を見つける訓練から始めようと思います。

- 訪問介護支援時に、本人や家族から不安な思いや意向を聞き取ることがあり、そんな時に ACP のマニュアルを参考にしたい、また、関連する機関に情報共有することで、状態悪化した時も慌てず対応を事前に検討していくことができると思いました。終末期の利用者も多く悩むこともありますが、利用者の立場に立ち今後も研鑽していきたいです。
- 「わたしノート」の作成時についつい項目を埋める作業になってしまいがちだが、そうならないように気をつけたいと思う。
- まずは、意思形成支援の本人の言動から価値観を見つけ周りと共有したい 常にチームと患者、家族で共有を繰り返していきたい
- 在宅での利用者様に対する支援として、今後の人生をどう生きるかについて考えるのにとっても有効であると思い、すべての利用者様に対して適応して実施できるものだと思った。
- 認知症であっても意思決定はできると信じること 専門職の価値観を共有すること
- 意思表示支援があつて、色々な支援に繋がると思っていますが、それが、苦手です。言葉を引き出すことの難しさを実感しながら、訪問をしています。反復、沈黙は、出来そうですので、使っていきたいと思えます。問いかけは、自信がありませんが、相手を理解しようと思ひながら、行ってみたいと思ひます。
- 本日の講義はスタッフのスキル向上に是非生かしたいです。しかし、わたしノートの活用については、死が身近な高齢者の方にすぐに受け入れていただけるのか、また、不快な思いをさせることなく説明できるのか不安があります。
- いつも飲酒し、兄弟に叱られている方に対し、もっと話を聞いてみたいと思ったので、傾聴・沈黙のスキルを使って話を聞いてみようと思ひました。私ノートを利用して、アセスメントにも使いたいと思ひました。

#### 7.専門職のためのACPマニュアル(冊子) の見やすさはいかがですか？

88 件の回答



1.使える～3.使えない

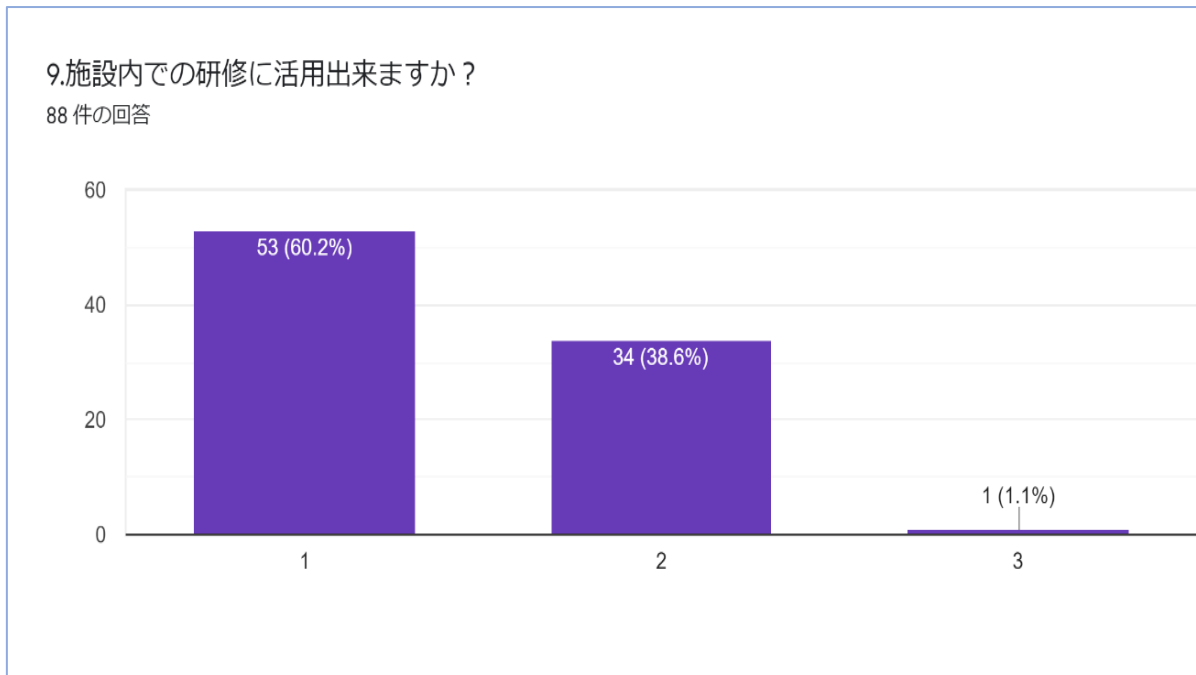
8. 専門職のための ACP マニュアルについてご意見・ご感想をお書きください。

47 件の回答(抜粋)

- 使ってみないと分からないところがあると思う 今後リニューアルしていけばもっとよいものになると思う
- 見やすかったです。今後の参考にします
- 病院でもこのマニュアルにを用いた勉強会を開催していきたい
- わかりやすく、美しくまとめてあり、何度も読み返しました。
- 具体的に書かれているため、ACP 初心者でもわかりやすかった。
- 作業部会の皆様、いいものを作っていただきありがとうございます。
- なんとなく意思決定や意思支援について考えていたものがありましたが、さらに気を付けたい内容や、よりよいものにつながるアドバイスが含まれていたのも、参考にしたと思います。
- マニュアルの説明会があってよかった。読むだけでは頭に残らないこともあるため。
- 専門職向けなので、イラストより文章が多くてもよいと思った。
- 具体的な事例や対応なども載せていただければもっとわかりやすいと思います。
- カラーで読みやすい
- 特養では、すでに意思決定ができなくなっているケースが多く在宅のうちに手に取って欲しいと思います。そして、家族と話し合い、施設入所時に本人の意思が家族を通じて施設に伝わることを願います。私たちは、理解していれば実現・協力できることはたくさんあると思います。
- 自宅で最期を迎える方が多くなった今、マニュアルがあると心強い。
- 具体例やポイントの記載があり、支援するにあたりやるべきことや気をつけることを知れた。
- マニュアルの冊子挿絵などがあり、わかりやすいと思います。先ほど杉浦医師が話されたように、今後どう生かしていくかが一番の課題だと思います。まずは、該当する利用者へタイミングをみて、実践していきます。
- 実践内容はさまざまな価値観について考えていくことなので、簡単なことではなく、色々な壁にぶつかりながら問題解決していくのだろうと予測している。
- 見出しとその説明が難しすぎず、まだ ACP を初めて知る人にも分かりやすいと思った
- ACP を開始する際に、誰が発起人になるのか？（医師、ケアマネジャー、医療相談員、各サービス担当者）が明確に記載があるとよいと思いました。「ACP をやった方がいいんだろうけど、私が声をあげてもいいの？」と感じて提案を遠慮してしまう方は多くいるような気がします。
- 職種によって ACP についての捉え方が異なると思われるが、マニュアル作成により統一化がはかれたと思われる。
- いつから対象者の価値観を共有するかと考えると難しいが、日ごろからその人の人と成りを知ろうとすることが、そのまま意思決定支援に活きると思った。終末期の意思決

定が意識される時期に関わっていればそこでフィードバックできるといいのかなと思う。

- 今日の研修を聞いて学びを書き込み、オリジナルのマニュアルができました
- Q&A 形式の資料が、噛み砕いた言葉で分かりやすかったです。
- もう少し詳しい知識も欲しかったので、ACP の参考文献も紹介していただけるとありがたいと思いました。
- とてもわかり易いと施設内で好評です。



1.できる～3.できない

#### 10.「わたしノート」についてのご意見・ご感想をお書きください

54 件の回答(抜粋)

- 利用者の方に紹介していきたいと思います
- 良い取り組みだと感じました
- とてもわかり易く、根拠を記載できるのが良い
- 自分も書いてみたくなった (頭の中で振り返ってみたら懐かしい思い出・苦い思い出などが浮かんできてよかったので)
- 医療者が使ってみてもよいと思った。
- 福祉センターに取りに見える住民さんも多く、関心が高いかと思っています。
- 書く内容が多すぎる 書き直しするスペースがない
- 以前から、こういうものが欲しいと思っていたので、ぜひ活用したいです。
- まだ活用していないので、早く市民向けの啓発講座などを企画し広めていきたい。
- 今後、入院時に持っているか、確認した方がいいのでしょうか？

- エンディングノートについて聞かれることがありますのでその様な機会にお勧めします
- 難しい状況の方の関りを避けてしまったり、困っている従業員がいるので、わたしノートを参考に、利用者さんやご家族と話をするきっかけに利用できればと考えます。
- 一緒に人生の折れ線グラフを書くということはいろいろ話を聞き出すことができそうです。
- 母親と話し合いたいと思いました。話を何気に切り出しましたが、「まだ60歳前なのに」と消極的でした。研修内容にあったようにタイミングを見計らって再チャレンジしたいと思います。自分自身の分もノートをいただきましたので、ゆっくり考えながらまず最初は1人で完成してみようと思います。きっとその方が、母親に話しやすくなる気がします。とても内容も分かりやすいノートになっていると思いました。
- 安城市で作成されていますが安城市以外の方にもすすめてみたいです
- 利用者様などへのタイミングでお渡しし説明していけばよいか判断が難しいと思う。
- 見やすいのですが、文字の多さに老人は圧倒してしまう気がします
- 大きく書きやすいと思った。実際に書いて行く作業で思いの変化がわかるのかと思う。
- 大きな冊子で見やすいと思います
- いきなり人生会議とあるので、経緯とかあってもよかったかもしれません。高齢者がみるとしたら、QRコードとか使えないと思うので。
- これをうまく活用することができれば、最期の選択だけでなく、残りの余生をどう生きるかを考えて、みんなで共有するよい機会になると思います。利用者様、対象の方だけでなく、自分にも使用しても面白いのかなと思いました。
- 活用するときに本当に参考になるのか実感がわかない。
- 市民が気軽に手にとりやすいデザインと分量で良かったです。今後このノートの何が大切かを啓発できるようにして、市民に活用いただけるようになるといいなと思う。
- 書き方の例を安城市のHPに掲載すると良いかも？
- カラフルで、見やすくいいと思います。
- 実際に使用できるように、毎月1回ACPカンファレンスを立ち上げました。
- 公的な場所で手に入ること、ネットで見れるのはとても嬉しい。多くの人に手にとってほしい

7. 今後企画して欲しい研修内容をお書きください。

24 件の回答(抜粋)

- ACP マニュアルを用いた活用事例の事例検討会
- 具体的な面談方法
- それぞれ部会の横のつながりが築ける研修
- B C P 関連
- 終末期より前の段階の緩和ケアについて

- 医療と在宅連携、現場の声を聞いて支援者の思いを共有する企画
- 地域包括ケアについて
- ある程度の時期が経過したら ACP マニュアルの活用が現在どうか、使用してみてもの意見交換などが出来ると良いと思います
- 災害や感染症の対応について
- 疾患別での ACP のすすめ方、模擬事例でもいいので交えながら学べるとよいと思う。
- コミュニケーションスキルの体験
- 看取りの研修は何回あっても勉強になります